

季節の行事課題（9月・10月：お月見カレンダー）

印刷できるもの：

- ① お月さまカレンダー

用意するもの：

- ① 色鉛筆などの文房具

方法：

- ① カレンダーを見ながら数字を書き込む（まだ難しい場合は親が書いておく）
- ② 毎日、お月さまを観察し、どんな形だったかを描く
- ③ 見えなかったときは雲や暗かった様子を描く

主に使用する語彙：

＜文房具＞鉛筆・色鉛筆

＜お月さま関連＞（丸い・細い・半分の）お月さま・月・満月・三日月・半月
見えない・お星さま・お月見

＜質問＞どんな形（だと思う）？ 何で描く？

＜歌＞♪月 ♪ぼんぼこたぬき ♪十五夜のもちつき

意識すること：

- ・ 毎日お月さまを観察し、形が変わることを知る
- ・ お月さまの形によってそれぞれ名前があることを聴きなじんでいく（満月・三日月・半月など）
- ・ 曇っていると星や月が見えないこと、明るいが見えないことなどを知る
- ・ 見えないときはどんな形だと思うか話し合う
- ・ お月見を楽しむ

＜発展＞

- ・ 十五夜が終わった後も月を見る機会を作り、生活の中で話題にする
- ・ 機会があれば、宇宙の話・ロケットなど話を発展させる



月

[illegible]

季節の行事課題（９月・１０月：お月見のお供え製作）

印刷できるもの：

- ① 果物製作の見本各種
- ② お供え用の果物製作イラスト各種（りんご・みかん・かき・ぶどう・なし・くり）
- ③ お団子の見本
- ④ 三方用のイラスト
- ⑤ お団子（１５個）

用意するもの：

- ① のり
- ② 描く物（マジック・色鉛筆など）
- ③ 紙皿（果物を置く物であれば玩具のお皿などでも OK）
- ④ 画用紙

方法：

- ① 各イラストはあらかじめ親が切っておく
- ② りんご・柿はヘタを貼る（描いても良い）
- ③ みかん・なしは点々を描き、ヘタを貼る（描いても良い）
- ④ くりは点々を描く
- ⑤ ぶどうは○を描く
- ⑥ 三方の見本を見ながら切り貼りする
- ⑦ 切り貼りした三方は画用紙に貼っておくとお団子を並べるときに扱いやすい
- ⑧ お団子は数を数えながら並べる

主に使用する語彙：

<文房具>鉛筆・色鉛筆・のり・マジック・はさみ など

<果物>果物名・ヘタ・葉っぱ・点々（他にどんな果物があるか考える）

<数字> １～１５・あるいは、１～１０はひとつ・ふたつと数える・○個

<お供え>お団子・お供え・お月見・（すすき）

<動詞>切る・描く・貼る・並べる・供える（お供えする）・（お月さまに）あげる・数える・まるめる・ゆでる

<形容詞>あまい・すっぱい・あますっぱい・かたい・明るい・暗い

<歌> ♪月 ♪ぼんぼこたぬき ♪十五夜のもちつき

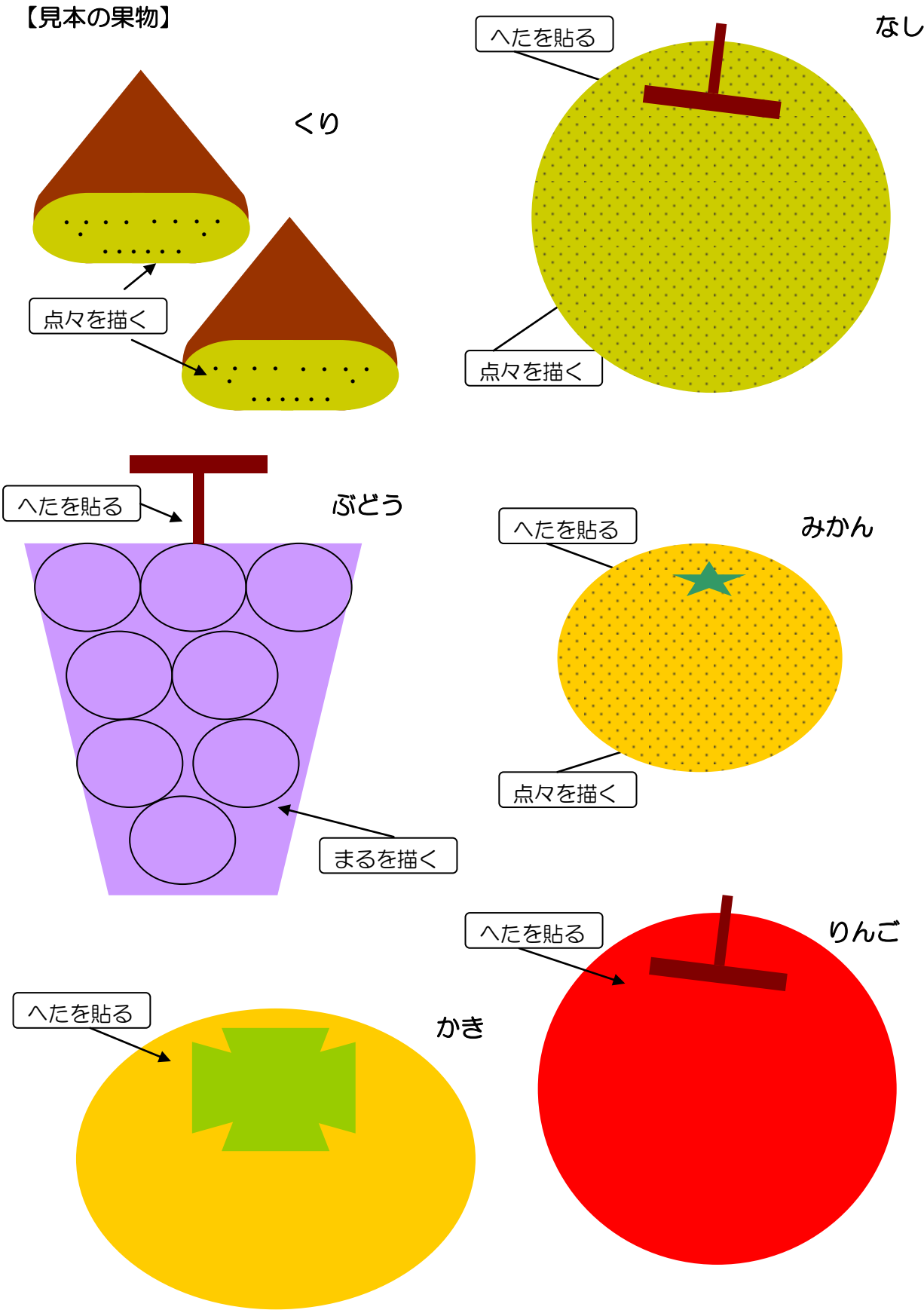
意識すること：

- ・ お月見に果物やお団子をお供えすることを話し、季節辞典などでも確認をする
- ・ 果物の形や色の違い、食べ方なども意識して扱う
- ・ お団子を数えるときに１０以上の大きい数を意識して聴かせる

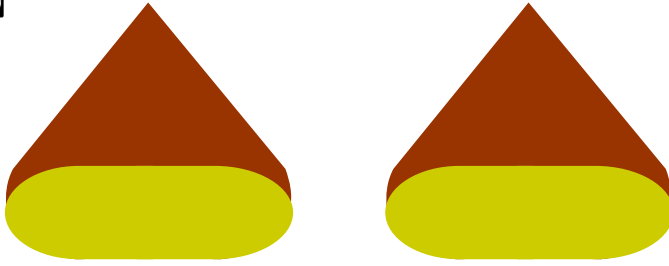
<発展>

- ・ 本当の果物をお供えしたり、本当にお団子を作ったり実物での経験も楽しむ
- ・ 本物のすすきがなければ、製作で追加して作っても良い
- ・ 果物の仲間集めなどに発展させる

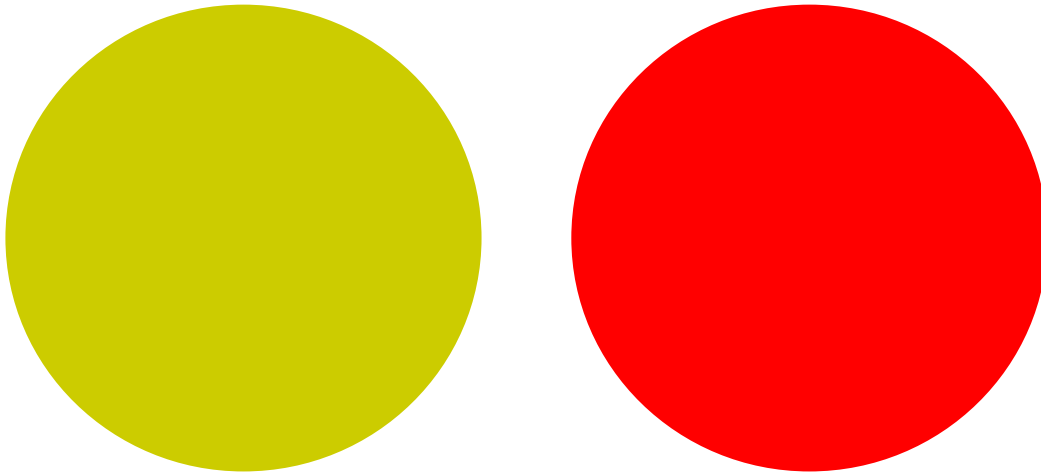
【見本の果物】



【くり】



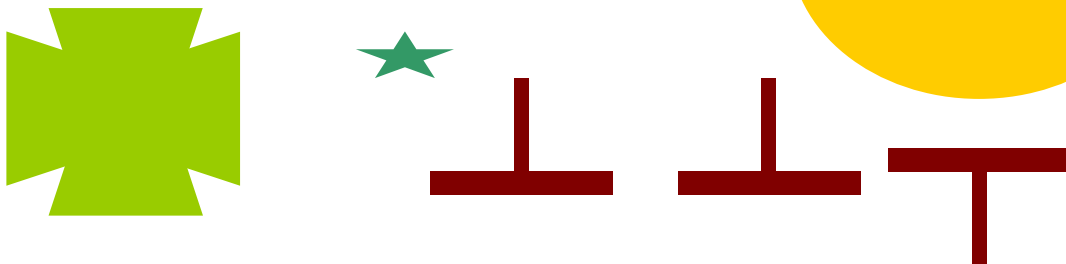
【なし】【りんご】



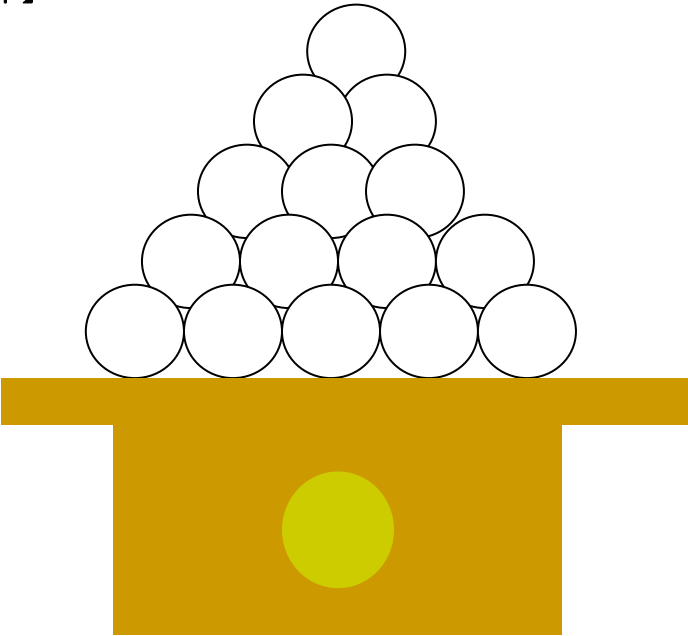
【ぶどう】【かき】



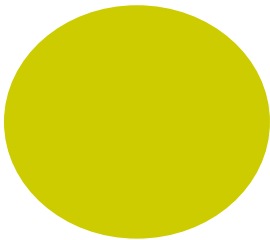
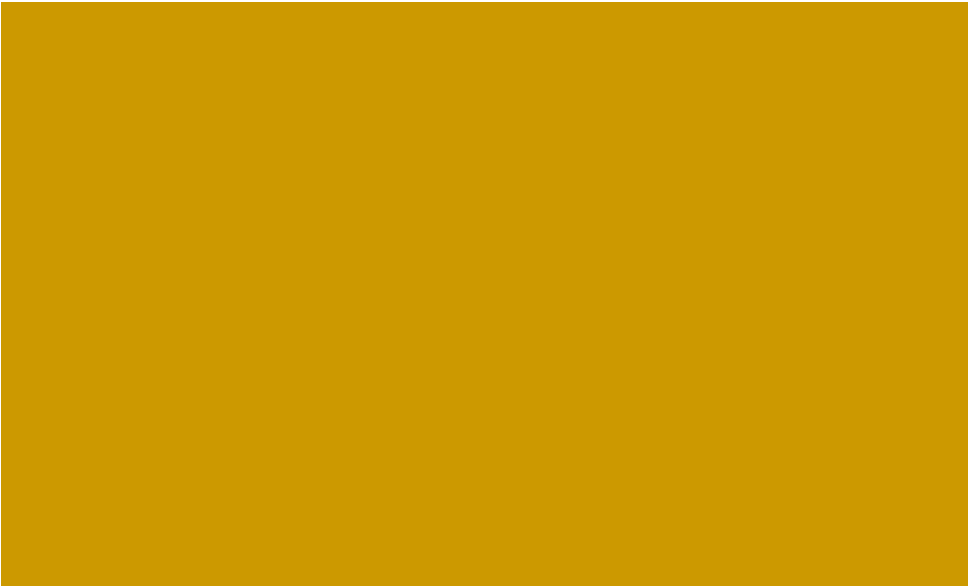
【へた】



【お団子の見本】



【三方】



【お団子用のまる】

